

歯科トラブル症例への対応

立川病院歯科口腔外科 笠崎安則

日常歯科臨床の中では、注意していてもさまざまなトラブルが生じます。

- ・ 防止できた、起こるべきして起きたトラブル
- ・ リスクがあり、しかたなく起きたトラブル
- ・ 偶発的に起きたトラブル などがあります。

こんなトラブルがあるんだと知り、その対応法や予防法を身につけることは大切です。また守備範囲外であればきちんと専門病院へ紹介するのも名医のひとつの条件であり、患者に安心と信頼を与える要因であります。他人が起こしたトラブル・失敗症例を検証し、症例から学んだことを明日の臨床に生かしましょう。

1. 矯正ゴムの歯肉迷入による異常前突歯
2. FC・メトコールによる頬部皮膚の化学傷
3. ステロイド軟膏の誤った使い方で、重症となった口角損傷・舌咬傷
4. 誤診、誤抜髓の原因となった中心結節破折
5. 根尖病変の原因歯の診断が困難であった症例
6. 除去インレーの舌への迷入
7. アマルガムが原因の歯肉着色
8. 歯肉ブラックラインの原因と予防
9. 疼痛の著しいドライソケットの対処法と予防
10. 上顎側切歯の抜髓から生じた鼻部皮下膿瘍
11. 下顎大白歯の抜髓後に生じた下唇知覚麻痺
12. 誤診された頬部皮膚に生じた外歯瘻
13. 切開を誤った正中上顎埋伏過剰歯の抜歯
14. 左右を間違えてしまった誤抜歯
15. 抜歯後異常出血の処置
16. 抜歯後感染から生じた下顎骨骨髓炎
17. 根尖性歯周組織炎から生じた下顎骨骨髓炎
18. 上顎洞内異物迷入から生じた上顎洞炎
19. インプラントの上顎洞内迷入

< 学歴および略歴 >

愛媛県松山市出身

1976年：東京歯科大学卒業

1976～1987年：慶応義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室入局

1982～1983年：波崎済生会病院 歯科口腔外科医長

1987～2015年：国家公務員共済組合連合会 立川病院歯科口腔外科部長

2015年3月：同上定年退職。非常勤

専門分野： 口腔外科。顎変形症の診断と治療。顎関節症。予後の良い歯根端切除術。

著書：「手際のいい智歯の抜歯」

「智歯の抜歯ナビゲーション」（9カ国語に翻訳） クインテッセンス出版

「日常歯科臨床のこんなときどうする（口腔外科編）」